明治35年2月11日創刊　平成22年5月15日印刷　平成22年5月20日発行（年4回発行）

國際法外交雑誌

第109巻 第1号　2010年5月

論　説

国際法の妥当範囲
——「国際法の完全性」の歴史的素描——　慶應義塾大学教授　明石欽司　1

国境を越える子の奪取をめぐる
問題の現状と課題　外務省国際法局国際法課長　岡野正敬　27

研究ノート

非国際的武力紛争における
人道法と人権法の関係　関西大学大学院博士課程　田村恵理子　54

資　料

2009年国際刑事裁判所（ICC）
裁判官補欠選挙の結果　外務省国際法局国際法課事務官　村井伸行　74

書評論文

遵守研究の展開
——「国際法の遵守」への
国際関係論からのアプローチ——　大阪大学准教授　内記香子　82

紹　介

森　肇志『自衛権の基層
国連憲章に至る歴史的展開』　大阪市立大学特任教授　松田竹男　94

村瀬信也・江藤淳一編『海洋境界画定の国際法』　龍谷大学教授　田中則夫　99

Nils Melzer, *Targeted Killing*
in International Law　防衛大学校講師　黒﨑将広　106

奥田安弘『国際私法と隣接法分野の研究』　名古屋大学教授　横溝大　112

木棚照一『国際知的財産法』　青山学院大学非常勤講師　申美穂　117

会　報

報告公募再試行のお知らせ　122

国　際　法　学　会

明治35年2月11日創刊　平成22年8月15日印刷　平成22年8月20日発行（年4回発行）

國際法外交雑誌

第109巻 第2号　2010年8月

論　説

戦間期における個人の国際法主体論の再検討
——日本の国際法理論の継承と発展のために——　名古屋大学教授　小畑　郁　1

Self-Defence against Terrorists :
What Can be Learned from Recent Practice (2005-2010) ?
Professor at the Université libre de Bruxelles International Law Center　Olivier CORTEN　22

ハーグ子奪取条約の現在
——第5回特別委員会における議論の紹介を中心に——
日本大学大学院法務研究科教授　織田有基子　46

資　料

国際刑事裁判所ローマ規程検討会議の結果について
外務省欧州局ロシア課長　岡野正敬　74

紹　介

小寺　彰編
『国際投資協定——仲裁による法的保護』　小樽商科大学准教授　小林友彦　99

吉川　元著『民族自決の果てに——マイノリティをめぐる国際安全保障』
北海道大学研究センター教授　林　忠行　104

有賀　貞著
『国際関係史　16世紀から1945年まで』　名古屋商科大学専任講師　山中仁美　109

主要文献目録

国際法　西村智朗・湯山智之　115

国際私法　樋爪　誠・黄　軔霆　144

国際政治・外交史　斉藤嘉臣・真嶋麻子　159

会　報

国際法学会2010年度（第113年次）春季大会　174

報告公募再試行のお知らせ　181

国　際　法　学　会

明治35年2月11日創刊　平成22年11月15日印刷　平成22年11月20日発行（年4回発行）

國際法外交雑誌

第109巻 第3号　2010年11月

論　説

国際司法裁判所における *jura novit curia* 原則
——近年の裁判例を顧みて——　近畿大学教授　杉　原　高　嶺　1

国家責任法における「事実上の機関」としての私人行為の国家への帰属　立命館大学教授　湯　山　智　之　29

国際司法裁判所の国連裁判所化
——判決主文の構成における裁量権行使の考察——　成蹊大学教授　佐　藤　義　明　54

国際社会の制度化
——レジーム論と国際立憲論の交差から——　青山学院大学教授　山　本　吉　宣　79

資　料

国連国際法委員会第62会期の審議概要　国際法委員会研究会　109

国際法協会第74回（2010年）ハーグ（オランダ）大会報告　164

紹　介

広瀬善男 著
『外交的保護と国家責任の国際法』　北海学園大学教授　加　藤　信　行　177

明石欽司 著
『ウェストファリア条約——その実像と神話』　静岡大学准教授　伊　藤　宏　二　182

Yutaka Arai-Takahashi, *The Law of Occupation : Continuity and Change of International Humanitarian Law, and its Interaction with Human Rights Law*　大阪大学准教授　和　仁　健太郎　187

道垣内正人 編著『ハーグ国際裁判管轄条約』　神戸大学教授　中　野　俊一郎　193

会　報

国際法学会2010年度（第113年次）秋季大会　199

主要文献目録について　221

第43回安達峰一郎記念賞　222

国　際　法　学　会

明治35年2月11日創刊　平成23年2月24日印刷　平成23年3月1日発行（年4回発行）

國際法外交雑誌

第109巻 第4号　2011年1月

論　説

国際刑事裁判所規程検討会議採択の侵略犯罪関連規定
——同意要件普遍化による安保理事会からの独立性確保と選別性極大化——
大阪大学教授 真山 全 1

個人の国際責任と組織的支配の構造 早稲田大学教授 古谷修一 34

資　料

判例研究・国際司法裁判所
国境紛争事件（ベナン／ニジェール）
（判決・2005年7月12日・特定事件裁判部） 国際司法裁判所判例研究会 67

解説・日本の国際法判例（5） 「日本の国際法判例」研究会（第2期） 93

紹　介

山本草二 編
『海上保安法制—海洋法と国内法の交錯—』 名古屋経済大学教授 富岡仁 155

大沼保昭 編『国際社会における法と力』 京都大学教授 濱本正太郎 162

不破 茂 著『不法行為準拠法と実質法の役割』 中央大学准教授 楢﨑みどり 168

会　報

第3回4学会国際会議 173

総目次 187

国際法学会